



だより



R7.10.14 Vol.23

陸上運動記録会

先週、市内陸上運動記録会が開催され、真穴からも14名の子供たちが参加しました。どの子もベストを尽くしている姿に感動しました。中でも男女のリレーがどちらも6位入賞を果たしました。一人一人の走力はとびぬけていいわけではありません。大きな学校のように体格のいい高学年だけでチームが組めるわけでもありません。でも4人が心を一つにして頑張った過程とその結果に大きな意味があると思うのです。リレーは走力だけではなくバトンワークがタイムアップのカギになります。そして100m以上を走りきるスタミナ作り。決して楽な練習ではありませんでしたが、子供たちは一生懸命取り組みました。チーム真穴の心意気！これからも大事にしてほしいです。

大人げない…

職員朝礼後だったのでしょうか。教頭が「校長先生これいいでしょ！！」と一枚の絵を見せてくれました。「1年生が描いてくれたんです！」そこには教頭の似顔絵と「きょうとうせんせい！だいすき」の文字が！「わっいいなあ！僕ももらいたいなあ…！」担任に聞こえるように呟きました(大人げない)。その日の昼休み。1年生の女の子二人が『コンコン』と校長室のドアをノックしてきました。「あら、どうしたの？」「似顔絵描きました！」そう言って持ってきてくれました。担任曰く「校長先生が、校長先生の分がないって泣きよったよ。」そう伝えてくれたみたいです。「あれ？だいききって書いてないよ？」
「いいですよ！今からかきますよ！」やっぱり大人げない…でも嬉しかったです！



四方山話真穴 ver2. 其の二十三(ものを大事に)

子供たちへの指導で「ものは大事に使いなさい！」様々な場面で言ってきました。私が小学生の頃です。買ってもらった下敷きが汚れてくると、石鹼をつけて洗っていました。ある時、洗って綺麗になった下敷きを見ると嬉しくなって、曲げたり、顔を扇いだりして遊んでいたらパキンと真っ二つになりました。(爆泣)セロテープで繋いで使っていましたが、その段差のところは鉛筆がひっかかるので、しばらくしたら「次は買わんよ！」と釘をさされて新しい下敷きを買ってもらった思い出があります。自分で言うのもなんですが、ものは大事にしていました。その時の状況とか持って生まれた性分とかいろいろなことが関係しているのでしょうか。最近の子供たちを見ていると、「もっと、ものを大事にしてほしいなあ。」と思う場面が時々…。

私の癖なのですが、自分が人に言ったこと、人から言われたことに対して「それはなんでだろう？」と考えることがよくあります。『そもそも、なんで大事にしないといけないんだろう？』←こんな感じです。今や百均に行けば日常生活の消耗品は大体の物が揃います。同じものを手入れしながら使うより、使い捨てと割り切ったほうが結果、安上りかも？と思うこともあります。時代がそうになっている？そんなことが頭の中を行ったり来たりします。(なんで勉強しないといけないんだろう？宿題なしにしたら何が困るんだろう etc.そんなこともよく考えます…。)

ものを大事にすることは人を大事にすることにつながる、感謝の気持ちを育てる、環境保全につながる… etc. それっぽい理由は頭に浮かぶのですが、最終的には『もったいない』ここに行きつきます。日本語にしかない言葉なんだそうです。日本人として受け継がれてきた文化、感覚なんだろうね。ものがあふれる世の中ではありますが、これからも『もったいない』を大事にする教育をしていきたいです。

----- 切り取り線 -----

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思ひます。